

目 次

技術研究会創立 10 周年をむかえて	1
技術研究会活動日誌	2
I 知床半島	6
1. 知床半島行（昭和 37 年春・第一次）	6
2. 知床半島行（昭和 40 年春・第二次）	11
II 黒部川本流	18
1. 黒 部 川 一 記録を前にして一	18
2. 黒部川上ノ廊下（昭和 38 年・39 年夏）	19
3. 黒部に挑んで	27
4. 黒部川上ノ廊下日誌	31
III 黒部川支流	36
1. 赤 牛 沢（昭和 39 年 8 月）	36
2. 小黒部谷・大ヌバリ沢・黒部別山（1967 年 7 月）	38
3. 黒部祖母谷（1968 年 8 月）	49
4. 劍沢支流・北峰ルンゼ（昭和 45 年 8 月 3 日～8 月 5 日）	57
IV 北の山・南の山	60
1. 屋 久 島	60
(1) 屋 久 島（1963 年 3 月）	60
(2) 永田岳北尾根	63
2. 利尻岳東稜および南稜（1966 年 3 月の記録）	67
3. 東北朝日岳西面（昭和 44 年 8 月）	73
V 北アの峰々	89
1. 餓鬼岳—唐沢岳（昭和 37 年 12 月 20 日～1 月 2 日）	89
2. 湯俣尾根・赤牛岳・高嵐尾根（昭和 39 年 12 月の記録）	94
3. 槍ヶ岳・北鎌尾根（昭和 42 年 12 月 20 日～1 月 2 日）	100

4. 五竜岳東面 (昭和44年5月)	104
5. 笠ヶ岳東面 (昭和45年5月)	106
6. 槍ヶ岳 — 西穂高岳 (昭和45年12月)	114
 VI 外国 の 山	122
1. アンデス (1965年)	122
2. Mt. BACO (フィリピン) (1968年)	128
 展 覧	135
1. 明日に向って — 技術展望 —	135
2. 新たなる日々によせて	135
 事 故 報 告	139
 研 究	141
1. 沢登と装備	141
2. スノーホウル考察	148
 文 芸	151
1. 探検部の“牢名主”について	151
2. 回想の黒部	153
3. 山 そ れ は	159
4. 俳 句	160
 遭難対策規約について	160
 アラスカ遠征報告	165
1. 経過報告	165
2. アラスカ案の誕生まで	166
3. 概念図 1.2.3	169
4. 派遣委員会	172
5. 活動概要報告	173
6. 日程概要	175
7. 登頂記	177

(1) Mt . S ENRI	177
(2) トライデント・ピーク登頂記（1971年7月7日）	178
(3) エレファント・ピーク(10232 ft. Peak)登頂記	181
(4) スーシトナ氷河	182
(5) くちばしピーク登頂断念記	186
8. 装備報告	188
9. 食糧報告	195
10. 医療報告	197
11. 輸送	199
12. 橱包	202
13. 気象報告	202
14. 会計報告	209
15. エアードロップ考察	210
16. プッシュパイロット、ドン・シエルダン	214
17. アンカレッジ・ガイド	216
18. フライト事故と対策	218
19. 参考文献	221
20. 芳名録	222
21. 英文報告	223
22. 関西大学探検部技術研究会会員住所録	227
23. あとがき	229